

数学

<全体分析>

試験時間	60分	解答問題数	3題
------	-----	-------	----

解答形式

3題すべて記述式。

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化）

出題の特徴

例年通り、標準的な問題が出題の中心である。

その他トピックス

2016年以降出題がなかったベクトルの問題が出題された。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	式と証明 図形と方程式 積分 三角関数	数学Ⅱ 数学Ⅱ 数学Ⅱ 数学Ⅱ	2次方程式の解と係数の関係 軌跡 定積分 三角関数の方程式	標準
2	平面ベクトル 2次方程式・2次関数	数学B 数学I	共線条件、内積、三角形の面積 2次不等式	標準
3	整数 式と証明	数学A 数学Ⅱ	n 進法 整式の割り算	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年、基本レベルから標準レベルの出題であるから、標準的な問題集で演習するとよい。
 数年単位でみると数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bの全分野から出題されているので、本年度の出題分野に限定せず、すべての分野で基本から標準までしっかりとした準備をしておきたい。60分という比較的短い試験時間を考えると、日頃の演習で思考力とともに計算力も養っておこう。